

Second Column 2024.9



近頃の出来事

vol.31 「出店の予告」

上海酒家 店長 廣田 麻美



広報部長 太郎くん

こんにちは、廣田です。お盆も過ぎたちやけど、暑〜っうして、どんこんいかん(汗)

して、お陰様で、漸く肋骨も治ったみたいです。「肋骨大丈夫?」と何人の方から聞かれ、「SECONDのコラム、読まれたんですか(驚)なんか、すみません」ち、お辞儀をした。ありがとうございます。ウチの母ちゃんが、あんた頭がおかしか人ち思われとるやろうね!ち言うけん、嘘は書いてないと、堂々と言った。マスターもアル中と呟いた(-_-)

んで、今年も水の祭典久留米祭り、出店で生ビール売りながら、昼からずーっと飲みよった。し〜かし、全部汗で流れ、全く酔っ払う事も無く、転ぶ事も無く、なんかめっちゃ、楽しかった(笑)して、毎回たまに、風変わりな人が、現れ、意味不明な言葉を発し、周りばドン引きさせて、購入もせずに、一生懸命ウチに、話かけ去って行くちゃんね。私は言いたい「買うていかんかい(怒)」集まった友達、麻美ちゃんと呼びよるちゃんね、ち、言いよる。多分、ウチには呼び寄せるパワーがあるちゃんね。麻美パワーが!全く自慢にはならんちゃんけど…ウチの近くの美香ちゃんは、「ホント、この文章の割には、麻美ちゃん、店では、しれっとしとるもんね」ち言う(驚)もしかしたら、店ではツンデレとか、思われとるかも知れんけど、そげなん事は無かですばい内弁慶なだけです。して、今回の予告、で〜す。毎年、恒例の「筑後SAKEフェスタ2024」10月12日(土)・13日(日)久留米シティプラザ六角堂広場、で出店しとるけん、見学がてら(見世物扱い)、是非来てくださいな、待とうよ!!

ばってん、ウチは主催者側やけん、酒は飲まれんけん、しれっとしとるかも知れんけど、「まみちゃん」と言われると「はいはい」て、言うけん、お気軽に声かけしてください。(´・ω・´)303kです。

中国料理 上海酒家

久留米市六ツ門町2-16 第5泉屋ビル6F

TEL.0942-39-8139

営:11:30~14:30、17:00~21:00

休:水曜

☎ shanhaishuka



神主四方山話 vol.15



久留米宗社 日吉神社 社務所

久留米市日吉町106 / TEL.0942-32-3770

営:9:00~17:00 ☎ kurume_sousya



久留米宗社 日吉神社 禰宜 久富 貴文

9月とはいえ暑い日は暑い。これを書きながら「9月とはいえ」に、ちょっと待てよと自問自答しています。「暦の上では立秋を過ぎたとはいえ、まだまだ暑いですね」とか、毎年暑いのはわかっているのだから「とはいえ」を使用するのはどうなんだろうかと。一雨ごとに日に日に過ごしやすくなり秋を涼しいと感じていた世代にとっては「とはいえ」は使用できますが、若い世代にとっては「秋は暑いよね」となるのでしょうか。とはいえ、夜が長くなり虫の鳴き声を聞くとやはり涼しさを感じます。よもやま、秋の夜長、学生の頃ラジオを聴いていた時に始めて耳にするかっこいい曲、終わる頃にパーソナリティが曲名をもう一度紹介してくれます。急いで曲名をノートに書き写してはみるのですが、結局誤字で曲名がわからない。インターネットのない時代は、

かっこいい曲も一期一会でした。よもやま、今月は中秋の名月。城島町の青木天満宮さまでは中秋祭が行われます。日吉神社でも境内社の月読宮さまにお月見団子をお供えします。また来月のことにはなりますが、月神さまとも云われる高良大社さまを始め多くの神社で旧暦の9月9日頃は「おくんち」という秋の祭が行われています。おくんちの名前の由来は9日(くんち)の祭だからというのが一般的説。高良大社さまの御出現の日は旧暦9月13日の十三夜だそうです。秋の夜長はお月様を通して神様にお願い事をされてみるのもいいかもしれませんね。

では皆様日々お健やかにお過ごしくださいませ。

Dr.わーだーの養生記

vol.65

「食料について考えてみる」

こごちいいん わだ とよみみ
心血医院 院長 和田 豊都



人類の近隣種である霊長類のチンパンジーやゴリラは自然界から手に入るものを食べて生きています。生きていくには必要な食料が年中得られる赤道直下の地域にしかいません。チンパンジーはかつては200万頭ほどいたそうですが現在では20万頭くらい、ゴリラは4万頭くらいとされています。両者を合わせても久留米市の人口よりも少ないのです。狩猟採集生活だと自然から得られるものではそれくらいの人口しか生きて行けないのです。現実はどうでしょう。80億人!3200倍もの人口を支える途方もない食料は、すべて農業や畜産、養殖によるものです。人類は長年の飢餓との戦いから、ちょうど良いくらいだとたったこれだけ?と感じてしまい、今のうちにと余分に腹一杯食べてしまいます。狩猟採集も食糧生産もしない消費者が、です。我々は運動不足の程度を過小評価しています。せめて狩猟採集の時の筋肉の動きに似たキンキンキラキラを踊ってからいただきますしてみませんか?

■ 心血医院(こごちいいん)

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間: (月~土) 9:00~12:00

(月火・木金) 19:00~22:00

休診日: 日祝・盆・年末年始



家具屋の思い出話 (35)

「子供の頃 不思議な旅」

Cozy Flat オーナー 仲洋史

今でも不思議に思い返す。なんて冷静な子供だったんだと。いや正直、子供とは思えない4歳だった。絵コンテが書き込まれた映画の台本を手にも、どうこの話を膨らませようかと考えている助監督のように計画を練っている。どうすれば喜ぶかと。大切な友達との別れとか入院中の大好きな母親の見舞いとかの話じゃなく、ただ近所のじいちゃんやばあちゃん達と町内の老人会の旅行に連れていかれる時の事なのに。飯塚から別府への旅。汽車の中で台本を思い出し頭の中にセリフと動作を落としこんでいく。始めて行く旅行のはずなのに全てが経験済みのように馴染まれている。3時間以上列車に乗っているにもかかわらず車窓の景色を見ながらおとなしくむいでもらったミカンを食べる4歳。決してぐることなどしない。別府の温泉街に着くとおばあちゃんに小さな声で竹の刀を買ってとねだる。「もうしょうがないねえ」と喜んで買う僕のおばあちゃん。当然体の小さな僕は大きな刀を選ばず



☎ cozyflat5252

Cozy Flat
筑後市四ヶ所菅原田460-1
TEL.0942-52-3480
営:10:00~18:30
休:水曜、第2・4木曜

短い刀を選ぶ。旅館に入って買ってもらった刀を大事そうにしながら持ち上げてちょっとだけ見せびらかす。ここまで僕はほとんどしゃべらない。それから部屋で買ってもらった刀でみんなを切って回る。初めて発する僕の言葉「えい!」にみんなは「やられたー」と言って喜ぶ。次から次に私も切っておくれとリクエストが飛び僕は必ずそれに応える。その場を和ませながらも周りの人々が高揚しているのがわかる…。演者としてはとても疲れているのに何とも言えない満足感がある不思議な4歳。ずっと心の中にいる監督さんの声に従っていた。コンクリートと岩に囲まれた小さな入り口の蒸し風呂にも皆と一緒に入って笹の葉みたいなモノで打たれる。黙って打たれる。まあこの子は偉いねーと褒められる。台本通り。その頃の僕はまだ僕じゃなかったんじゃないか?たかが4才の子供にそんな事が出来るだろうか?でもあの時の僕は間違いなく僕だった。3泊4日の旅で小さくて大人しい良い

子の僕は周りのじいちゃんやばあちゃんをすっかり虜にし、「本当に楽しい旅やった。また一緒に行くね!」と声をかけられた。「必ずまたこの坊ちゃんを連れてきてね!」と言われた僕のおばあちゃんは喜色満面を頭を下げている。そう、僕はこのおばあちゃんを喜ばせる為に台本通りの演技をし、完結させたんだ。帰り着いた夜、僕は熟睡した。そして不思議なことにそれからの記憶がしばらくない。今の私なら帰り着いた日、背広を脱ぎながら「いやー、喜んでもらえたし、まあ成功だな。」とビールを飲み気分良くウイスキーのロックに進むだろう。しかしあのじいちゃんやばあちゃん達とはその後二度と一緒に旅行に行っていない。それからの記憶が本当にならぬ。あの時の僕は本当に僕だったのだろうか?あの旅は本当だったのだろうか?あの時のじいちゃんやばあちゃんの顔も、一緒に食べたであろう食事何れも記憶がない。ただ一つ列車中のミカンの味だけは覚えている。

もりさんぽ vol.70

「秋になれば」

ヒト・モノ・コト ツナグ研究所

商業活性化 人材育成コンサルタント 久保 森住光

☎ moribon0511



暑さが厳しく、さっぱり気味ですが、久留米の街なかを良く歩きます。開発が進み、建物の更新も続いています。が、「古き、良き」久留米を感じることも多くあります。

江戸期は、有馬藩の城下町として発展を遂げていますので、古地図をたどりながら歩くことが出来ます。また、明治期は「ゴム三社」を中心とした産業興隆期。軍隊の進出もあり、現久留米市の基礎が形成されています。昭和20年8月11日久留米を襲った、「久留米大空襲」では、焼夷弾攻撃により市街地のおよそ7割の約1.75平方kmに及ぶ範囲が被災、200名を超える尊い生命が失われています。戦災遺構として、三井住友銀行久留米支店建屋や、旧みずほ銀行がその歴史を伝えていて。建築家であり社会事業家の、ウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した「日本福音ルーテル久留米教会」には、礼拝堂に迫る戦火を信徒たちが必死の消火活動で食い止めた逸話が残り。定期的に開催されている「久留米まち博覧会」では、まちなかを巡るツアーも企画されており、ガイドと共に歩くことも出来ます。今回は、秋から冬にかけて開催が予定されています。

そんな中、嬉しいお知らせが!来る、10月20日(日)に、JR九州が主催する「駅長おすすめ」JR九州ウォーキングが、JR久留米駅と西鉄久留米駅間で開催される事が決まりました!久留米市中心市街地発展の歴史が体感できるコースも設定が検討されていますし、「まちあるき」開催中の、ほとめき通り商店街をお楽しみいただけます。商店街では、おもてなし!を考えていっしょに歩きます。

複合的、複層的に歴史を体感できる久留米市中心市街地。休日には、ゆっくりと歩いてみませんか?「天高く馬肥ゆる秋」はもうすぐです。

